

浜鬼小だより

[学校ホームページ](#)

「子供の心に寄り添う」

校長 畑 慎司

「どうしてこの子はこうなんだろう…」お子さんのことでそんな風に悩んだことはありますか。なかなか子供は大人の思い通りにならないものです。

そんなときにはどうしていますか。家庭内のことなのでそれぞれのやり方があるのですが、私のお勧めは「子供の心に寄り添って子供の気持ちや考えをじっくり聞く」こと、そして「解決方法を一緒に考える」ことです。



人の言動には必ず理由があります。それは子供であっても同じこと。決して上から目線ではなく、「そうか」「それで?」「なるほど」「そうだったんだね」などと共感的に受け止め、子供の目線で最後まで話を聞いてみてください。話を聞くと、大人の気づかないところに子供のつまずきや、そうしてしまう理由が隠れていることがあります。また、子供の気持ちや考えを受け止めることで、子供は「聞いてくれた」「わかってくれた」という気持ちになります。理由が子供のわがままである場合、話を聞いてもらっているうちに自分のわがままに気づき、考えを改めることも。一通り子供の話を受け止めたら、子供と対話をしながら問題の解決方法を一緒に考えます。「じゃあどうすればいい?」と子供に返すのもよいでしょうし、「それなら、まずは〇〇から始めてみない?」と親から案を提示するのもよいでしょう。子供の気持ちを大事にしつつ、親の気持ちをやんわりと話して、説得を試みたりするのもありだと思います。一緒に解決方法を考えると、親子関係がより良好になると思います。

自分が子供の頃は、家でも学校でも大人に強く叱られるのが普通でした。体罰を受けることもありました。自分の場合、大人に叱られたら、逆らって大喧嘩をするか、余計なことは言わず、大人の怒りが収まるのを待つかの二択でした。今では考えられませんね。



今は学校でも、児童生徒を指導するときには、「共感的理解」を心がけ、児童生徒の思いを受け止めた上で指導を行うようにしています。「昔のようにもっと厳しく叱ってほしい」と思う方もいらっしゃると思いますが、もうそういう時代ではないようです。

猿払村少年の主張大会

11月4日(金)の少年の主張大会が行われ、本校からは太田恋羽さん、山田望結さんの2名が出場しました。例年、会場に集まり、大勢の方々の前で発表していましたが、昨年よりコロナ感染予防のため、学校からのオンライン開催となっています。これまで練り上げてきた自分の主張を堂々と発表している姿が立派でした。結果は以下の通りとなりました。

優秀賞 6年 太田 恋羽さん
努力賞 6年 山田 望結さん



行事予定

曜	校 内 行 事	時
1 木	短縮日課 参観・懇談(1・2年)	5
2 金	短縮日課 参観・懇談(5・6年) バイク給食	6
3 土		
4 日		
5 月	短縮日課(成績処理日) 全校朝会⑭	6
6 火	短縮日課(成績処理日) フッ化物 ALT 委員会⑤	6
7 水		6
8 木	短縮日課 安全の日 分掌会議	5
9 金		6
10 土		
11 日		
12 月	短縮日課 なかよし号	6
13 火	フッ化物 ALT クラブ⑩(反省)	6
14 水		6
15 木	短縮日課 職員会議	5
16 金		6
17 土		
18 日		
19 月	大掃除週間(~23日)	6
20 火	フッ化物 ALT	6
21 水		6
22 木		5
23 金	短縮5時間授業 2学期終業式 教室大掃除	5

猿払村小中学生書道・絵画展

第4回村内小中学校絵画・書道展が開かれ、全児童が作品をそれぞれ出品しました。1・2年生は、絵画を、3年生以上は書道作品を出品しました。審査を受けた後、5日(土)、6日(日)に農村環境改善センターにて展示されました。受賞者は以下の通りです。おめでとうございます。

書道展高学年の部

金 賞 6年 野村 柚子さん
銀 賞 5年 和野 梨結さん



愛音さん、お元気で・・・

1年生の佐々木愛音さんが鬼志別小学校に転校することになり、11月4日(金)の全校朝会でお別れのあいさつをしました。どうぞ、お元気で・・・



冬季休業 12月24日(土)~1月17日(火)
第3学期始業式 1月18日(水) 通常登校